慣用句 ③

1

次の慣用句の意味として最も適切なものを後のア～エの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) いままでも根にもつのはよくないと思う。
 (2) 彼が頭角を現す日も、そう遠くはないだろう。
 (3) 素直に謝れば、今までのことは、水に流すつもりだ。

(4) そんなことをすれば、火に油を注ぐことになる。
 ア すぐれた才能や力によって、ほかの人より目立つ。

イ 過ぎ去ったことをなかったことにしてこたわらない。
 ウ すでに勢いのあるものを、いつそう勢いづける。

エ うらんでいて、過去のことをいつまでも忘れない。

- (1) (2)
 (3) (4)

2

次の文の□に漢字一字を入れて、文を完成させなさい。

(1) 間違えのないようにもう一度□を押しておく。

(2) 私が注意すると、弟が□をとがらせた。

(3) 途中で口を出して、話の□を折る。

(4) 彼の上達ぶりに□を巻く。

3

次の文を「目」ではじまる慣用句にして、□に書きなさい。

(1) 我を忘れるくらい好きであること。
 (2) うたがって厳しく見張ること。
 (3) 迷いがなくなり、正しい心にもどること。
 (4) 思いがけないものを見て、信じられないこと。

(4)

(3)

(2)

(1)

4

次の文を「耳」ではじまる慣用句にして、□に書きなさい。

(1) 自分の欠点を指摘され、聞くのがつらいこと。
 (2) 思いがけないことを聞いて、信じられないこと。
 (3) 同じことを何度も聞かされ、うんざりするこ
 (4) お金を決められた額だけそろえること。

(4)

(3)

(2)

(1)

組 番 名前

かかった時間 正解数
分

1

- (3) (1) イ エ
- (4) (2) ウ ア

2

- (3) (1) 腰 念
- (4) (2) 舌 口

3

- (1) 目がない
- (2) 目を光らす
- (3) 目を覚ます
- (4) 目を疑う

4

- (1) 耳が痛い
- (2) 耳を疑う
- (3) 耳にたこができる
- (4) 耳をそろえる

間違った問題を確認してみよう！

1

次の慣用句の意味として最も適切なものを後のア～エの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。
 (1) いままで根にもつのはよくないと思う。
 (2) 彼が頭角を現す日も、そう遠くはないだろう。
 (3) 素直に謝れば、今までのことは、水に流すつもりだ。
 (4) そんなことをすれば、火に油を注ぐことになる。

ア すぐれた才能や力によって、ほかの人より目立つ。
 イ 過ぎ去ったことをなかつたことにしてこたわらない。
 ウ すでに勢いのあるものを、いっそう勢いづける。
 エ うらんでいて、過去のことをいつまでも忘れない。

2

次の文の□に漢字一字を入れて、文を完成させなさい。

- (1) 間違えのないようにもう一度□を押しておく。
- (2) 私が注意すると、弟が□をとがらせた。
- (3) 途中で口を出して、話の□を折る。
- (4) 彼の上達ぶりに□を巻く。

3

次の文を「目」ではじまる慣用句にして、□に書きなさい。

- (1) 我を忘れるくらい好きであること。
- (2) うたがって厳しく見張ること。
- (3) 迷いがなくなり、正しい心にもどること。
- (4) 思いがけないものを見て、信じられないこと。

4

次の文を「耳」ではじまる慣用句にして、□に書きなさい。

- (1) 自分の欠点を指摘され、聞くのがつらいこと。
- (2) 思いがけないことを聞いて、信じられないこと。
- (3) 同じことを何度も聞かされ、うんざりするほど。
- (4) お金を決められた額だけそろえること。